

いわての保育者 学びのアクションシート

「学びのらしんばん」を活用した
記入例

保育者が記入

◆年度初め（年 月 日）

氏名

現状の把握（今、自分はどのキャリア・ライフステージにいますか？）

基礎ステージ（2～5年）



ステップアップのための今年のチャレンジ！

・保育者として

保育記録を継続し、子ども理解を深め、クラスのドキュメンテーションで子どもの育ちを保護者にも伝える。より遊びが楽しくなる環境構成の工夫に取り組む。

・園の一員として

栽培担当として、各年齢の担当と相談しながら園全体の栽培計画を立てる。遊びに自然を取り込めるように、色が出る花、実のなる植物等を調べ、園庭の植物ミニ図鑑を作成する。

◆その実現に向けて

管理職との対話をとおして決めた取組（研修計画等）

・6月20日（火）保育者レベルアップ研修講座ステップⅠ（受講：済、伝講：済）

→子ども理解について研修し、ここで学んだことを三つは実践に生かす。

・11月10日（金）保育技術研修会（受講：済、伝講：済）

→特別支援教育について学び、一人ひとりを大切にされた保育の実践に生かすとともに、園内の特別支援教育を推進する。

◆年度末（年 月 日）

振り返り

保護者にも伝わるクラスのドキュメンテーションを作成するために、子どもの姿とともに、子どもの体験の意味や、成長を支える保育者の関わり等についても記録を継続したことで、子ども理解が深まった。理解が深まると、子どもの思いに添った援助ができるようになり、保育が一層楽しくなった。また、園内の先生方との協働による園庭の植物ミニ図鑑作成を通じて、園の一員として役割を果たすことへの充実感を得ることができた。

担当者からコメント

この一年、記録の継続によって、子ども理解が深まってきたことを感じます。クラスのドキュメンテーションも保護者に好評で、園と保護者の信頼関係の構築につながっていますね。園庭の植物ミニ図鑑も子どもの興味や関心に応じて活用できるものが完成し、子どもたちの遊びがより楽しくなりそうです。

◆いわての保育者学びのアクションシート様式ダウンロードは

☞「いわての保育者学びのアクションシート」で検索

◆いわて就学前教育振興プログラム本編は

☞「いわて就学前教育振興プログラム」で検索

◆いわて幼児教育センター通信

「こどもがまんなか いわてのWAっこ」は

☞「いわて幼児教育センター通信」で検索



岩手県保育者のための

学びのらしんばん



活用ガイド

就学前教育施設の類型や公立私立を越えて本県の保育者の資質向上を図るため、「岩手県保育者のための学びのらしんばん」を策定しました。

「岩手県保育者のための学びのらしんばん」は、保育者のキャリア・ライフステージごとに、「このような保育者の姿でありたい」というイメージがもてるように構成し、保育者自身の成長の方向性を示した羅針盤的な役割を果たすものです。

また、それぞれのキャリア・ライフステージで、保育者自身がどのようなことを研修する必要があるのかを見通し、研修計画等を作成するために活用することができます。

例えばこんな使い方！

保育者

- ★目指す保育者像を明確にするために
- ★自己の保育の目標設定や振り返りに

各園

- ★園における自己評価の指標として
- ★キャリアに応じた人材育成の指標として
- ★園内研修計画立案の手掛かりに
- ★保育者との対話をとおした研修計画作成に

設置者

（市町村・法人等）

- ★採用・人材育成の指標として
- ★キャリア・ライフステージに応じた研修の企画の際に

いきいき生きる いわての子 ~手と手をつないでみんな幸せ~を目指して、学び続ける保育者

「岩手県保育者のための学びのらんばん」

キャリア・ライフステージの目安	基礎ステージ		中堅ステージ		リーダーステージ	園長等	
	基礎力の形成期		実践力の向上・充実期		総合力の発揮期	園経営能力の育成（総合力の発揮期）	
	新規採用	2～5年	6～10年	11年～	主任等		
目指す保育者像	○子どもへの愛情と保育に対する熱意をもち、試行錯誤しながら子どもと関わっている。 ○保育に関する基礎的な知識・技能を保育実践に生かそうとしている。	○保育に関する専門的な知識や基礎的な職務遂行能力を身に付けている。 ○保育者としての基盤を確立し、園組織の一員として見通しをもって行動する力を身に付けている。	○保育者としての使命感を自覚し、自らの実践を常に振り返りながら、職務遂行能力を向上させている。 ○園運営の中堅として、園全体を見渡す視野をもち教育活動を展開している。	○広い視野に立ち、保育実践をとおして研鑽を積み、若手教員の模範となりながら職務遂行能力をさらに高めている。 ○職務に関する専門知識や幅広い教養をより一層高め、園運営に積極的に参画している。	○リーダーとしての役割と責任を自覚し、同僚保育者の資質向上を支援しながら、園の教育目標の達成に向け、広い視野で関係者と連携し、園運営を補佐している。	○保育者・職員の能力を把握し、地域・関係者との連携・協働を図りながら、園を組織体として機能させ、園目標の達成に向け統括している。	
キャリア・ライフステージに応じた研修 (いわて幼児教育センター主催研修の一部)	幼稚園等初任者研修		保育者レベルアップ研修講座ステップ1 (2～5年目等対象)	保育者レベルアップ研修講座ステップ2 (6～10年目等)	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	幼児教育中核リーダー養成研修講座Ⅰ・Ⅱ	
保育者としての素養	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学び続ける意欲・探究心 使命感、責任感、倫理観 教育的愛情 豊かな人間性 コミュニケーション力 課題に立ち向かう力 省察力（メタ認知力） 					<ul style="list-style-type: none"> ・自律的に学び探究する姿勢をもち、教育の情報化を含む時代や社会の変化、キャリア・ライフステージに応じて求められる資質を生涯にわたって高めている。 ・保育者としての使命や責任を自覚し、保育への情熱と誇りや高い倫理観をもっている。 ・子どもに対する深い愛情と人権意識をもち、一人ひとりの子どもと真剣に向き合っている。 ・豊かな人間性をもち、社会人としての常識や幅広い教養を身に付けている。 ・様々な背景・価値観をもつ人々と対話をとおして情報共有し、相互に考えを伝え深め合いながら、合意形成を図り、課題を解決している。 ・心身共に健康で、様々な状況でも感情をコントロールしながら、忍耐力とチャレンジ精神をもって様々な課題に取り組んでいる。 ・自分の保育について振り返り、自分の保育の傾向等について客観的に把握し、子どもの姿に合わせて改善しようとしている。 	
実践力	子ども理解	・他の保育者の子どもの見方を学ぼうとしている。 ・記録をとおして子ども理解に努めている。	・乳幼児期の発達の特徴について基礎的な知識を習得している。	・乳幼児期の発達の連続性を理解し、子ども一人ひとりの発達の特徴に応じた援助をしている。	・園の乳幼児を取り巻く環境を理解し、子ども一人ひとりに向き合い、その子らしさを捉えた柔軟な対応をしている。	・子ども一人ひとりの発達の特性に応じた援助について、他職員へ適切な指導・助言を行っている。	
	指導計画の作成と保育の展開・評価	・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に基づき作成された全体的な計画及び指導計画や指導の評価の意義を理解している。	・全体的な計画、記録及び評価に基づき、子どもの主体的な活動の実現や小学校教育との接続に配慮して指導計画を構想、実施し、振り返っている。	・全体的な計画、記録及び評価に基づき、園や地域の行事等を関連付けたり、小学校教育との接続を考慮したりして指導計画を作成するとともに、実践を振り返っている。	・園全体の実践の中心的な役割を果たしながら、子どもの実態を踏まえつつ資質・能力の育成を目指す年間指導計画を見直している。	・職員との話し合いを活用しながら、年間指導計画の評価・改善をしている。	
	環境構成と援助	・環境構成の工夫及び教材研究に努め、子どもの実態を踏まえながら子どもの主体的な活動が保障されるよう保育を展開している。	・子どもの発達を多面的に捉えとともに、興味・関心を把握し、主体的・対話的で深い学びの	・一人ひとりの子どもの実態について多面的に把握し、実態に応じて手立てを工夫して適切に指導・支援している。	・カリキュラム・マネジメントの観点から、地域資源の活用を視野に入れた保育を工夫・改善している。	・環境の構成について他職員へ適切な指導・助言を行い、協働して子どもの発達を保障する環境を整備している。	・必要に応じて関係機関と園の担当者をつなぎ、子どもと保護者を支援する園内の体制を構築している。
	特別な配慮を必要とする子どもへの対応	・特別支援教育についての基本的な考え方を理解している。 ・障がいに関する基礎的な知識を習得している。 ・子どもの実態を捉え、支援に生かそうとする心構えをもっている。	・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等を作成し、他職員や保護者と相談しながら子どもと保護者に対して適切に対応している。 ・地域の専門機関の役割を理解している。	・一人ひとりの子どもの実態について多面的に把握し、実態に応じて手立てを工夫して適切に指導・支援している。	・一人ひとりの子どもへの理解や関わり方について専門性を高め、子どもと保護者に対して適切に指導・支援をしている。 ・他職員の相談に乗ったり助言を行ったりしている。	・必要に応じて関係機関と園の担当者をつなぎ、子どもと保護者を支援する園内の体制を構築している。	・必要に応じて関係機関と園の担当者をつなぎ、子どもと保護者を支援する園内の体制を構築している。
	幼保小連携及び小学校教育との接続	・幼保小接続の意義を理解し、小学校以降の教育を理解しながら、日々の保育を振り返っている。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をカリキュラムの整合性を図りながら保育に取り入れ実践している。	・幼保小の学びのつながりを意識し、個別と集団等、協同性のバランスがとれたマネジメントを行っている。	・0～18歳の学びの連続性を見通した指導をしている。	・幼保小連携の推進に向けて相互の理解と協力を求めている。 ・幼児と児童、職員間、保護者間の交流活動を企画し、実践している。	・職員との話し合いを活用しながら、年間指導計画の評価・改善をしている。	・職員との話し合いを活用しながら、年間指導計画の評価・改善をしている。
マネジメント力	園組織としての連携・協働	・園務分掌の意義を理解し、組織の一員として園務を遂行しようとする心構えをもっている。	・園務分掌の内容について理解し、他職員と連携しながら主体的に園務を遂行している。	・園務分掌や園運営等に改善の意識をもって積極的に参画している。	・園全体を意識し、関係機関との連携を視野に入れながら園務分掌を遂行するとともに、他職員へ建設的な提言・助言を行っている。	・園全体の状況を踏まえ、関係機関との連携を視野に入れながら、適切に役割分担を行うとともに、園務分掌の改善を図っている。 ・園務分掌の遂行について、他職員へ適切な指導・助言を行っている。	
	危機管理	・健康、安全、危機管理等の重要性を理解し、危機管理に必要な基礎的な知識を身に付けている。	・事故防止の指針、危機管理マニュアルを基に、子どもが安心・安全に生活できる環境を整え、事故の未然防止に努めている。	・ヒヤリハット報告書や事故防止の指針を基に危機を予測し、子どもが安心・安全に生活できる環境を整え、事故の未然防止に努めている。 ・事故発生時には迅速に報告・相談し、適切な対応ができる。	・危機を予測した未然防止の取組と危機の早期発見・早期対応をしている。 ・様々な事案に迅速で適切な対応をしている。	・危機を予測した未然防止の取組と危機の早期発見・早期対応をしている。	
	保護者との連携・子育ての支援	・地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を園が担っていることや家庭との連携の重要性について理解している。	・管理職や他職員等の助言を生かし、家庭等に自園の教育方針を伝え、理解と協力を得られるようにしている。 ・就園児及び地域の未就園児の保護者との良好な関係を築き、相談しやすい雰囲気を作っている。	・就園児及び地域の未就園児の保護者との信頼関係を築き、保護者の気持ちに寄り添い、子育ての喜びを共有し、具体的に必要な支援や助言をしている。 ・園における子育ての支援の調整役となり、保護者同士、職員同士をつなぐ役割をしている。	・関係者との信頼関係を築き、家庭との連携や保護者への支援体制を組織として整えるとともに、他職員に適切な指導・助言を行っている。	・関係者との信頼関係を築き、家庭との連携や保護者への支援体制を組織として整えるとともに、他職員に適切な指導・助言を行っている。	・関係者との信頼関係を築き、家庭との連携や保護者への支援体制を組織として整えるとともに、他職員に適切な指導・助言を行っている。
	地域との連携・協働	・地域の自然・文化・歴史・産業などについて理解している。 ・地域との連携・協働の必要性について理解している。	・地域と連携した保育・教育活動に取り組んでいる。	・地域と連携・協働した保育・教育活動のよさを生かし、実践している。	・地域と連携・協働した保育・教育活動のよさを生かし、実践している。	・地域と連携・協働した保育・教育活動のよさを生かし、実践している。	・地域と連携・協働した保育・教育活動のよさを生かし、実践している。
マネジメント力	人材育成	・職員一人ひとりのよさを生かした組織を構築している。 ・職員一人ひとりに応じた資質向上やキャリア・ライフステージに関する助言、研修の受講奨励を行っている。 ・教職員のメンタルヘルスを含めた健康・安全・働き方へ配慮している。	・職員一人ひとりに応じた資質向上やキャリア・ライフステージに関する助言、研修の受講奨励を行っている。	・職員一人ひとりに応じた資質向上やキャリア・ライフステージに関する助言、研修の受講奨励を行っている。	・職員一人ひとりに応じた資質向上やキャリア・ライフステージに関する助言、研修の受講奨励を行っている。	・職員一人ひとりに応じた資質向上やキャリア・ライフステージに関する助言、研修の受講奨励を行っている。	
	危機管理	・各種マニュアル・計画を策定し、周知・理解を徹底し、事故の未然防止につなげている。	・園目標等を家庭や地域にわかりやすく発信している。 ・地域に信頼とつながりの輪を創り、よりよい園運営に努めている。	・園目標等を家庭や地域にわかりやすく発信している。 ・地域に信頼とつながりの輪を創り、よりよい園運営に努めている。	・園目標等を家庭や地域にわかりやすく発信している。 ・地域に信頼とつながりの輪を創り、よりよい園運営に努めている。	・園目標等を家庭や地域にわかりやすく発信している。 ・地域に信頼とつながりの輪を創り、よりよい園運営に努めている。	